

支援者の近藤なおみさんが
皆さんに楽しんでいただけるようにとのことで
親子で楽しめるオリジナル動画を作られました。
限定公開版の YouTube のQRコードも教えていただきました。
お家でも楽しんでみてください。



いっしょに うたいましょう



おはなし会「こもれび」からの贈り物 NO. 2

6月「水無月」の“無”は“の”にあたる連体助詞ですので、“水の月”ということになります。

田植えが終わり、田んぼには水が張られています。畑では麦が色づきます。

梅雨入りすると雨の日が多くなりますが、6月21日には夏至を迎えます。

子どもたちのエネルギーがはじけだす季節かもしれません。

そこで、“やってみたくなる絵本”を選んでみました。

おはなし会「こもれび」担当 前田

“やってみたくなる絵本”

(赤ちゃんに)

・「くつつあるけ」(林明子 作・絵 福音館書店)

…靴をはいておもてに出るのは、赤ちゃんの大きな喜びでしょうね。この絵本を読んでもらったあとの赤ちゃんの顔を見てみたいものです。

・「たまごのあかちゃん」(神沢利子 作/柳生弦一郎 絵 福音館書店)

…たまごって、形も大きさもいろいろなものがあるのですね。「たまごのなかでかくれんぼしているあかちゃんはだあれ？でておいでよ」と呼びかけると次々に出てきます。によろ ちょろ よちよち…とね！

画用紙で作って
遊ぶと楽しいよ！



(2歳くらいから)

・「しろくまちゃんのほっとけーき」(わかやまけん 作 こぐま社)

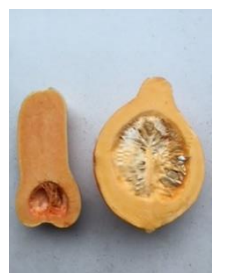
…ぽたん どろどろ ぴちぴち ぷつぷつ やけたかな？ まだまだ… これを読んだら、だれだってホットケーキを作りたくなってしまいます。食べたくなくなってしまいます。

・「おにぎり」(平山英三 作/平山和子 絵 福音館書店)

…こんなにおいしそうなおにぎりを見たら、おにぎり作りに挑戦せずにはおれません。それも熱々のごはんでね！

・「やさいのおなか」(きうちかつ 作・絵 福音館書店)

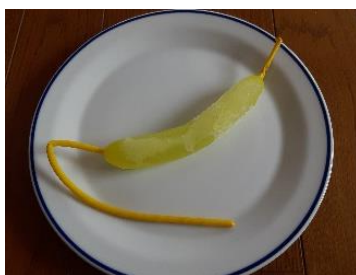
…やさいを真ん中ですばっと切った断面が美しい絵で次々と登場します。台所からやさいを持ってきて、切って中を見たくくなります。



・「あおいふうせん」(ミック・インクペン 作/角野栄子 小学館)

…ただの風船ではありません。しかけ絵本になっていて、ワクワクドキドキの展開をしています。読んだあと、そういえば、風船っていろいろな遊びができることを思い出すでしょう。

風船の中に水を入れて
凍らせてみるのもおもしろい



(3歳くらいから)

・「じゃぐちをあけると」(しんぐうすすむ 作・絵 福音館書店)

…じゃぐちから出てきた水だけでこんなに遊べるなんて、子どもって楽しいですね。コップやスプーンをお風呂場に持って行って…お風呂の時間が待ち遠しくなるでしょう。

・「まほうのコップ」(藤田千枝 原案/川島敏生 写真/長谷川摂子 文 福音館書店)

…コップに水を入れるだけでまほうのコップのできあがり！コップの後ろに置いたものがぐんにやりつぶれてしまったよ。さっそく、ためさずにはおれなくなります。



ブドウを置いたら



バナナを置いたら

・「びっくりまつぼっくり」(多田多恵子 作/堀川理万子 絵 福音館書店)

…松かさが湿度で開いたり閉じたりすることを利用して、まつぼっくりのビン詰めができます。すぐにでも、まつぼっくりを拾いに行きたくなってしまいます。



・「わゴムはどのくらいのびるかしら？」

(マイク・サーラー 作/ジェリー・ジョイナー 絵/岸田衿子 訳 ほるぷ出版)

…ある日、男の子は、わゴムがどのくらいのびるか、ためしてみることにしました。いろんな乗り物に乗ってどんどん行きます。子どもの想像力をかきたてる絵本です。

・「なつのいちにち」（はたこうしろう 作 偕成社）

…あの強い日ざし、草のにおい、あふれだす夏を感じられます。虫とりあみを持って思いっきり走ってクワガタムシをつかまえにいきたい～。

（4歳くらいから）

・「たんぽぽ」（平山和子 作・絵 福音館書店）

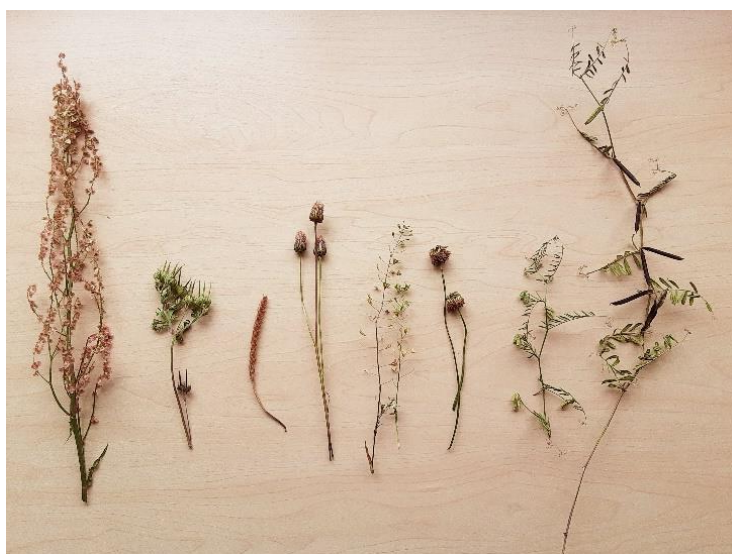
…たんぽぽの花は何百という花がより集まってできています。その一つ一つを細かく描いた絵を見ると、花をつんで一つ一つの花をひっぱり出さずにはおれなくなります。そして、その一つ一つの花の根元がふくらんで種となり、綿毛につれられて遠くに飛んでいくのだと知ったら、綿毛飛ばしがどんなに楽しくなることでしょう。



たんぽぽ

・「たねがとぶ」（甲斐信枝 作/森田竜義 監修 福音館書店）

…道ばたにさいた春の草の名前がわかります。どんな種をつけるのかもわかります。とてもきれいに描かれた種の絵を見ると、実際にさがして手に取ってみたいくなります。子どもたちは絶対に種にさわって種を飛ばしたくなるでしょう。



からすのえんどう
すずめのえんどう
しろつめくさ
なずな
のあざみ
おおばこ
あめりかふうろ
すいば



おはなし会「こもれび」からの贈り物

3月から、おはなし会「こもれび」もお休みになっています。

暖かい陽だまりの下で子どもたちをいっぱい遊ばせてあげたいのに、今はおうちで、絵本の中で、自然とふれあう楽しさを味わうしかありません。想像をふくらませておいて、外に出かけられるようになったら思いっきり自然を満喫したいですね。

そこで、今の季節に読んであげたい絵本を選んでみました。

赤ちゃんに

- ・「おふろでちやぶちやぶ」…1970年発売以来愛され続けています
- ・「くつつあるけ」…歩くことそのものの喜びがストレートに描かれています
- ・「でてこいでてこい」…だれかがかくれているよ でてこいでてこい
- ・「たまごのあかちゃん」…リズム感のある言葉とびっくり箱をあけるような楽しさ
- ・「こんにちは」…あいさつの楽しさを教えてくれます
- ・「どうすればいいのかな？」…失敗して、考えて、学んで、うまくできるようになります
- ・「もこ もこもこ」…ページをめくるたびに次々に起こる驚きの展開！



2歳くらいから

- ・「おにぎり」…読み聞かせてもらうだけで、熱さをこらえながら自分で作ったおにぎりが完成
- ・「パンツのはきかた」…はじめにかたあしいれるでしょー歌いたくなるような文章が続きます
- ・「かばくん」…きびきびした言葉の力と力強い絵は見事です
- ・「ぼくのくれよん」…カラフルで大胆なクレヨン画を見ていると、何かを描きたくなります
- ・「なにをたべてきたの？」…何でもやってみる！子どもたちは、自由に思い描いていきます
- ・「タンタンのずぼん」…アイデア秀逸です
- ・「コッコさんのおみせ」…大人も子どもも、ぐぐっと遊び上手になれるでしょう
- ・「おやすみなさいコッコさん」…いつしか世界中のものと一緒に静かな月の光に抱かれます
- ・「おんなじおんなじ」…指をさしながら「おんなじおんなじ」と楽しめます
- ・「ちびごりらのちびちび」…「だいすき」の言葉が繰り返し響きます
- ・「でんしゃにのって」…はじめての電車絵本に最適です
- ・「14ひきのびくにつく」…これを読んだ体験は、子どもたちの心の中に残っていくでしょう
- ・「せんろはつづく」…子どもは線路をつなげる遊びが大好きです
- ・「はけたよはけたよ」…自分で成し遂げた喜びと達成感が伝わってきます
- ・「おでかけのまえに」…ほのぼのとのびやかで、親が優しい気持ちになれます。

3歳くらいから

- ・「おおきなかぶ」…画面からはみ出して描かれたかぶがお話のスケールの大きさを感じさせます
- ・「ちいさなねこ」…素朴だが配慮が行き届いており、古めかしいと敬遠せずに読みたいです
- ・「たろうのおでかけ」…たろうを見守る大人たちの温かい視点を子どもたちは感じるでしょう

- ・「そらいろのたね」…家が生え、どんどん大きくなっていくお話に夢もふくらんでいきます
- ・「ね、ぼくのともだちになって！」…コラージュの技法がすばらしいエリック・カールの作品
- ・「カニ ツンツン」…様々な民族の言葉などをモダンアートの第一人者が描いています
- ・「ティッチ」…末っ子の心が大きくはばたきます
- ・「どろんこハリー」…ちょっと冷たいんじゃないかと思っていた家族の温かさを感じるでしょう
- ・「ゆかいなかえる」…たくましく生き抜く力を、ゆかいな4匹のかえるたちが教えてくれます
- ・「もりのなか」…卓越した想像力の作者に描かれた絵は、子どもたちの想像力を力強く支えます
- ・「わたしとあそんで」…温かさそのもの。日常に疲れたとき、ゆっくり開いてみたくなります
- ・「ぐりとぐら」…焼きあがったかすてらのおいしそうなこと！名場面です
- ・「わたしのワンピース」…1969年からずっと輝きを放つ。絵が変化していくだけでも楽しめます
- ・「しょうぼうじどうしゃじぶた」…じぶたの姿に、子どもたちはどんなに安心するでしょう
- ・「はじめてのおつかい」…新しいことへチャレンジする勇気が伝わってきます
- ・「おやすみみみずく」…明るい画風でユーモラスに描かれています
- ・「ロージーのおさんぽ」…絵が物語を語り始めます。対象年齢をものともせず、人気があります
- ・「おばけのバーバーパパ」…豊かな感情のある優しいピンク色のおばけは世界中で人気者です
- ・「サラダとまほうのおみせ」…おままごとがしたくなります

4歳くらいから

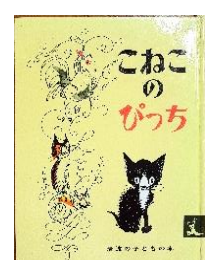
- ・「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」…黒一色の絵の中に、動き、勢い、速度、力があります
- ・「3びきのやぎのがらがらどん」…ノルウェーの昔話。物語の構成もリズムも絵も訳も完璧です
- ・「おかみと7ひきのこやぎ」…ホフマンの絵によるグリム童話。質の高い感動的な絵本
- ・「だいくとおにろく」…民話の語り口を生かした文章と日本の伝統的な美しい絵
- ・「くいしんぼうのはなこさん」…柔らかな語り口と穏やかなユーモア。のどかな牧場でのお話
- ・「ぐるんぱのようちえん」…失敗を繰り返しながらも前に進む健気なぐるんぱにホッとします
- ・「おだんごぼん」…心地よいリズムのフレーズが心の中にずっと入りこんでいきます
- ・「かいじゅうたちのいるところ」…絵が段々大きくなって、子どもの内面の豊かさへと導かれる
- ・「ふしぎなたけのこ」…驚くほどのテンポで話が進み、絵巻のように展開していきます
- ・「たんぽぽ」…たんぽぽをみると、いくつになっても必ずこの本のページがよみがえるでしょう
- ・「ラチとらいおん」…文字の存在が目立ち、文字への好奇心をつのらせていくでしょう
- ・「みんなうんち」…生きものは食べるから、みんなうんちをするのですね
- ・「ペレのあたらしいふく」…風景や人物の穏やかさ、昔の暮らしの素朴さ、ものを作り出す喜び

絵本から童話への橋渡しに

- ・「こぐまのくまくん」
- ・「番ねずみのヤカちゃん」
- ・「こねこのピッチ」
- ・「パンのかげらとちいさなあくま」
- ・「むぎばたけ」



←散歩をすることが
どんなにすてきかを
実感させてくれます





5月になると、つくしに代わりスギナが青々としげり、たんぽぽはすっかり綿毛になり、水がはられた田んぼではカエルの鳴き声がにぎやかになります。田植えも始まります。麦の穂も風にそよいで気持ちがよさそうです。想像をたくましくして、実際に自然とたわむれる日がくることを楽しみに待ちましょう。



こいのぼり



スギナ



たんぽぽの綿毛



たけのこ



田植え



風にそよぐ麦畑

